

事業概要

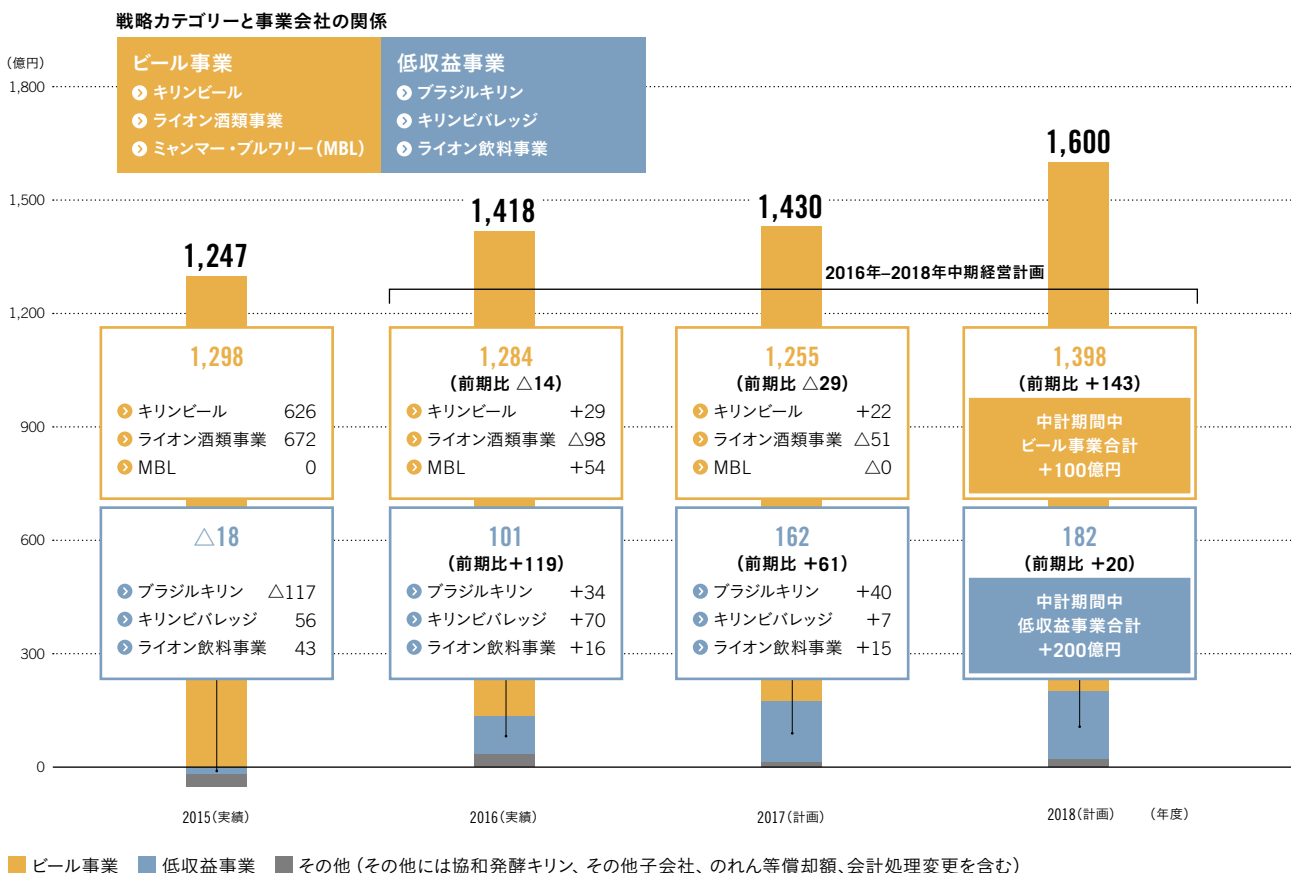
事業構造

キリングループは、純粋持株会社であるキリンホールディングスのもと、「食と健康」をドメインとした事業をグローバルに展開しています。酒類、飲料を扱う総合飲料事業では、グループ各社、現地企業が一体となり、お客様や社会の声にしっかりと耳を傾け、様々なライフスタイルや価値観に合う商品やサービスを提供しています。医薬・バイオケミカル事業では、高度な技術とユニークな視点で独自の研究を進め、世界の人々の健康と暮らしに貢献する、高品質の製品を開発・提供しています。これらの事業を通じ、社会に新しい価値を提供することで、持続的な成長を実現していきます。

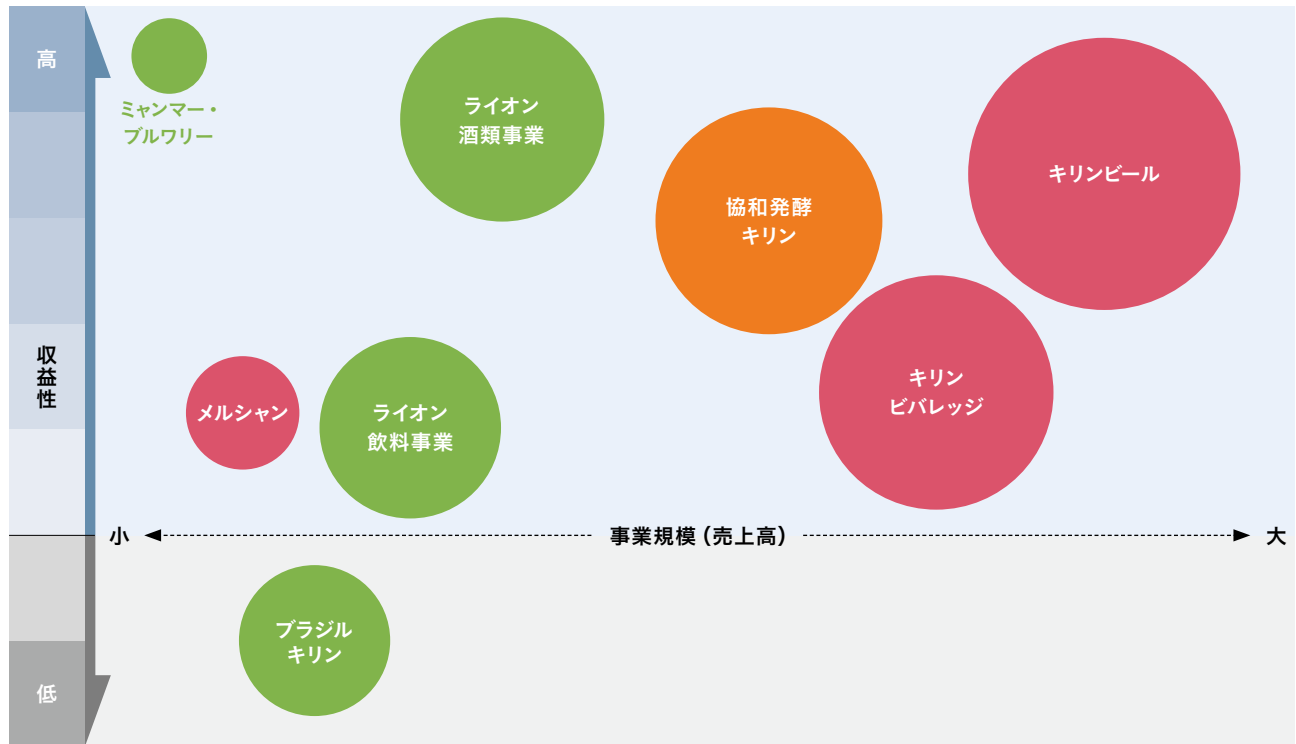
収益構造

連結営業利益の事業セグメント別内訳は、非常にバランスの取れた構成になっています。この収益構造を基盤としつつ、市場成長性と収益性の観点から、事業ごとの戦略を定めています。グループの収益を支えるビール事業では、収益基盤のより一層の強化に取り組み、医薬・バイオケミカル事業では、積極的に研究開発費を投じ、中長期的に「飛躍的な成長」を実現します。低収益事業においては、強固なブランド体系、構造改革の加速により、利益ある成長を目指します。キリンホールディングスは経営資源の配分にメリハリをつけることで、グループとしての収益力を高め、持続的成長につなげます。

戦略カテゴリー別事業会社の営業利益 ～中計計画と初年度進捗～



事業会社別事業規模と収益性



2016年度		麒麟ビール ^{※1}	麒麟ピバレッジ ^{※1}	メルシャン ^{※1,※2}	ライオン(酒類) ^{※3}	ライオン(飲料) ^{※3}	ブラジル麒麟 ^{※3}	ミャンマー・ブルワリー ^{※3}	協和発酵キリン
売上高(億円)		4,022	3,546	663	2,228	1,498	1,179	224	3,357
営業利益(億円)		698	172	36	574	59	△83	88	347
営業利益率(%)	2015年度	15.1	1.5	2.7	27.0	2.3	△8.7	—	13.2
	2016年度	17.4	4.9	5.4	25.8	4.0	△7.0	39.2	10.3
	2017年度	17.3	5.1	3.3	26.4	4.9	△2.9	36.2	11.3

※1 麒麟ビール、麒麟ピバレッジ、メルシャンの営業利益は、マネジメントフィー控除前。

※2 メルシャンの売上高は酒税込み。

※3 ライオン、ブラジル麒麟、ミャンマー・ブルワリーの営業利益はのれん等償却前営業利益。

ビール事業のシェア

